

# ロータリートランスフォーマ方式 TMNRシリーズ



## 仕様

定格容量	±10 N・m～±10 kN・m
許容過負荷	120 %R.C.
限界過負荷	200 %R.C.
定格出力	1.3 mV/V±0.26 mV/V
検量精度	±0.5 %R.O. (但し、弊社製トランスミッタ CSA-561 との組み合わせの場合)、(非直線性、ヒステリシス、繰り返し性含む)
推奨印加電圧	2 VAC
絶縁抵抗	200 MΩ 以上(DC50 V)(ブリッジ～本体間)
温度補償範囲	0 °C to 90 °C(但し、使用温度範囲は0°C to 40 °C)
零点の温度影響	0.2 %R.O./10 °C
出力の温度影響	0.2 %LOAD/10 °C
最高回転数	TMNR-10NM～200NM: 10 000 rpm TMNR-500NM～1KNM: 8 000 rpm TMNR-2KNM～5KNM: 5 000 rpm TMNR-10KNM: 4 000 rpm
回転による零点の変動	0.3 %R.O.(TMNR-10NM～200NM: 0.5 %R.O.)
回転による温度上昇	TMNR-10NM～1KNM: 40°C以下/最高回転数にて TMNR-2KNM～10KNM: 50°C以下/最高回転数にて
ケーブル	φ10、4 芯シールド付 5 m、両端コネクタ付 (型式: CAC-160-5M)
コネクタ型式	TC1108-12A10-7M10.0, PRC03-12A10-7M10.5
保護等級	IP40 相当(本体部のみ)
回転検出器用歯車(内蔵)	S45C 黒染め TMNR-10NM～200NM: 60 歯、モジュール 1、歯巾 8 mm TMNR-500NM～1KNM: 60 歯、モジュール 1.25、歯巾 10 mm TMNR-2KNM～10KNM: 120 歯、モジュール 1、歯巾 10 mm

## 特長

- TMNR 型トルク変換器は、トルク受感部の検出した電気信号の伝達に高効率のロータリートランスフォーマを採用しています。従って、駆動側と測定側は非接触ですから、長時間の測定でも安定した性能がえられます。測定用のみでなく計装制御用としても用いられます。  
高性能ロータリートランスフォーマ採用の為、トルク測定のみではなく計装制御分野、例えば食品化学工業などにおける攪拌力、練り力の制御に使用可能です。
- 回転検出器(別売品)を取り付けることにより、回転数が計測できますので、原動機等の馬力計測も行うことが可能です。

## 別売品

ベース、回転検出器、回転検出器用ケーブル、トルク変換器専用トランスミッタ

## 型式表

型式	定格容量
TMNR-10NM	10 N・m
TMNR-20NM	20 N・m
TMNR-50NM	50 N・m
TMNR-100NM	100 N・m
TMNR-200NM	200 N・m
TMNR-500NM	500 N・m
TMNR-1KNM	1 kN・m
TMNR-2KNM	2 kN・m
TMNR-3KNM	3 kN・m
TMNR-5KNM	5 kN・m
TMNR-10KNM	10 kN・m

## 代理店

 株式会社 パーカー コーポレーション

本 社 / 〒103-8588 東京都中央区日本橋人形町2-2-1  
TEL (03) 5644-0610 FAX (03) 5644-0611  
大阪支店 / 〒530-0013 大阪市北区茶屋町1-8-2  
TEL (06)6372-6241 FAX (06)6374-3761